

危機管理分科会の経過について

令和6年3月12日（火）

地域を支える調査設計業全体会議

危機管理部会資料

1. 検討の状況について

（1）災害対応活動実績への総合評価点の加点についての検討経過

前回の第1回分科会では、課題の整理はある程度できているが、解決方法については多くのアイデアを出しながら見出していくこととし、各協会から随時、意見交換などで解決案を出していくことで意見集約を進めてきた。

次回分科会で最適加点の方法や公平性が満足される条件等について、具体的な議論を行うためたたき台を示すことができるよう検討中であるが、解決方法の整理に時間を要していることから、検討を継続し審議に至っていない。

第2回 技術・経営環境分科会 実施概要

1 開催日時 令和6年2月15日(木) 10:00~12:00

2 開催場所：県庁議会棟4階401会議室

3 議 事

(1) 総合評価落札方式の見直しについて

1) 業務成績評定点評価の見直し

- ・80点から84点に見直し
- ・令和6年4月の公告案件から適用

(協会)

- ・価格以外で差を付けるには、どこに差を付けるかは、分かりにくく、見えにくいため、難しいと考える。

(技術管理室)

- ・やりながら入札状況などを検証し、皆様のご意見を伺い改善していく。

2) 工事監督支援業務(資料のみ)

- ・現行の受注希望型競争入札に加え、新たな総合評価落札方式(技術提案型)により、工事物の品質確保を強化。
- ・令和6年4月の公告案件から適用

(2) 優良技術者表彰制度の見直しについて

- ・申請基準を82点以上から87点以上に見直し
- ・総合落札方式の加点は、大規模、難工事のみ加点

(協会)

- ・制度の見直しについて、所長推薦など点数でなく、頑張ったものを評価できるような制度へ。
- ・総合落札方式の業務成績評定点が見直しとなるため、基本となる業務成績評定の見直しが必要である。

(技術管理室)

- ・業務成績評定点により評価しているのに、申請により選考される点が疑問、また、この過程を技術の研鑽と考えるなどいろいろなご意見があるため、皆様のご意見を伺い検討したい。
- ・補償コンなど成績評定シートが無いものもあるため、皆様のご意見を伺い見直していく。

(3) ボーリング業務における遠隔臨場の活用について

- ・令和6年1月、地質調査業務における遠隔臨場の試行を実施。(災害復旧事業を除く)
- ・履行中の業務においても受発注者協議により適用可。